令和6(2024)年度 大磯中学校区 グランドデザイン

大磯中学校区教育目標 【大磯町教育大綱】 (基本理念) 【かながわ教育ビジョン】 ・自分の目標や夢に向かって自ら努力する 「子育て・教育で (基本理念) 未来を拓く・創る・生きる みんながわくわくするまち おおいそ」 ・自分に自信をもち、他者を大切にする (基本日標) 「まなび・からだ・こころ」 大磯中学校教育目標 9年間を見通したカリキュ コミュニティ・スクール 「自立」自ら正しい行動をしようとする人 ラム ・地域総がかりで子供たち 9 ・指導方針や各発達段階で 「健康」いのちを大切にし、心温かな人 を育む仕組みをつくる。 育てたい力等を共有し、9年 玍 ・地域のなかの学校が体現 ・他者を思いやり、他者を受入れるなど他者との関わりから自己有用 間の系統性・連続性のある 間 できるように、実践や取組を 取組により、確かな学力の 咸を喜めることができる 連 を 見直していく。 ・多面的・多角的に物事を考察することで、周囲にある課題に気付き、 定着、向上をめざす。 携 見. 解決に向けて適切に判断することができる 異学年交流 9年間一貫した支援 通 ・多様な価値観があることを認識し、認め合い、協働することができる ・人と関わる機会を増やし、 ・9年間を通して子供を見守 協 ・変化が激しい社会に柔軟に応じ、新たな価値を創造するなど目標 自己有用感や責任感を育 り育てる支援体制により、問 働 達成に向けて主体的に考え判断し、粘り強く取り組むことができる み、思いやりの心の醸成を た 題行動の未然防止と早期 図る。 対応を図る。また、支援を必 教 要とする子供について全教 育 小中連携 職員の共通理解を図り. 大磯小学校教育目標 ・教職員の会議等を通じて チームで支援する。 小中学校の理解を深め、子 おだやかに 自ら学び 共に育つ どもの育てる姿を共有して 学習指導の充実 いく。 ・小学校高学年での教科担 ・自らにも他人にも、心穏やかで、やさしい子ども 当制や小中学校間での相 ・基礎・基本を身につけ、自ら進んで学習できる子ども 互乗り入れ授業等、専門性 共に助け合える子ども を活かした魅力ある授業の ・運動に親しみ、健康で健全な生活ができる子ども 創造、協働学習や少人数学 ・自らをみつめ、自らの成長を信じて、行動する子ども 習など効果的な学習形態 <具体的連携> の活用を図る。 ・小中合同研究 ・相互授業参観 小·中学校共通実践 出前授業 ー学校支援体制の構築と効果的具体的な連携・協働ー ・相互乗り入れ 授業 交流活動 <学習環境> ・認め合い、安心して過ごせる場の整備 ・自己有用感が醸成される人との関わりを大切にした環境 <授業> ・誰一人取り残さずに、学び合い高まり合う学習 ·ICTの活用とモラル教育による、深い学びの推進 <情報発信> ・各種たより、メール配信システム、ホームページ等の有効活用 「大磯学」の実践 地元大磯についての系統学・連続的な学習 地域材を活用し、各教科等を通して郷土への愛着を深め、主体的な行動する態度を育成する。

大磯中学校 大磯小学校 小学校から中学校 2年生 l 年生 3年生 2年生 4年生 5年生 6年生 |年生 3年生 小学校の学びを基盤 思考・判断・表現を活用 ・望ましい生活リズムや 学習内容や学び方の基礎 ・小学校での学習内容の にした基礎・基本のさ するなかで、主体的な学 学習習慣の定着 基本のさらなる定着や徹底 確実な理解と定着 らなる充実 びにつなげる態度の育成 ・基礎基本の反復・定着 協働的な学びを意図的 興味関心や自己評価に基づく 計画的に実践 学習課題などの自己決定 将来の進路指導を ・幼稚園・保育園等との 中 | ギャップへの対応 円滑な接続と相互交流 見据えたキャリア教育 ・集団で関わり合う活動の充実・協働的に課題を解決する力の 生徒の発達段階に (小1プロブレムへの対応) 他者と触れ合う中での成長 さらなる育成 応じた指導・支援 学級担任制 教科担当の学齢に応じた拡充 教科相仟(相当)制

学校運営協議会

地域

家庭